

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
51104	文章表現とコミュニケーション Improving Writing for Better Communication	河合 龍二			2	選択	1年前期

科目の概要

保育学生が身に付けるべき資質能力を育成する。日本語の基本的な知識の修得に努め、原稿用紙の使い方・手紙文の書き方・志望理由書・小論文・自己アピール文の作成方法などを学ぶ。また、グループワーク並びに敬語使用法などに取り組むことによって、正しい日本語の文章表現力とコミュニケーション能力を身に付ける。（ディプロマ・ポリシー②③④⑥）

学修内容	到達目標
① 保育用語・漢字・語彙・敬語を学ぶ。差別用語に関する意識を高める。 ② 原稿用紙に自分の考えをまとめ、発表方法を学ぶ。 ③ 文章や資料を読解し、要約方法と課題の解決策を考える。 ④ グループでコミュニケーションを取り、発表する。 ⑤ 人前で堂々と自らの考えを表現する。	① 保育用語・漢字・語彙・敬語の小テストで8割正解できる。（ディプロマ・ポリシー②③） ② 要求字数の9割以上で文章をまとめることができる。（ディプロマ・ポリシー②③） ③ 課題を見付け、その解決につとめることができる。（ディプロマ・ポリシー②③④） ④ 他者の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。（ディプロマ・ポリシー②③④⑥） ⑤ 敬語を含め、場に応じて適切な言葉を選び、伝わるように表現できる。（ディプロマ・ポリシー②③④⑥）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	グループワークや小論文演習、スピーチ演習などに、積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	小テストの予習・復習を始め、授業での課題への取り組みを確実に進めていくことができる。
考え抜く力	課題発見力	文章や図表から、それぞれの課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。
	計画力	
	創造力	小論文や志望理由書について、一般的・常識的見解を踏まえつつ、独自性を出すことができる。
チームで働く力	発信力	各自がまとめた内容、グループで話し合った内容を全体に伝わるように発表することができる。
	傾聴力	講義や発表の要点、グループワークでの発言の要点をつかみ、箇条書きで記述することができる。また、相手の長所を見抜き、的確な評価ができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：毎回、教員の作成したプリントで実施する。
 参考文献：講義の中で随時紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
 資格との関連：保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
「読む、書く、話す、聞く」の4技能をバランスよく鍛える。毎回さまざまな文章を用意するので、表現の工夫を知り、活用できるようにしよう。保育士として必要な専門用語や、使ってはいけない差別用語、社会人として必要な日本語の知識を習得するために、適宜小テストを実施するので、真摯に取り組むこと。	話をよく聞き、自分で考え、発表するというように、課題に積極的に取り組み、表現力の向上に努めること。グループワークでは「お手紙まわしシート」「ボキャブラリーシート」等さまざまなしなかけを試すので、積極的に取り組もう。配付プリントや振り返りシートは、ポートフォリオとして各自保管しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓		漢字・語彙・文章表現に誤りがない。 課題となる長文を決められた字数で要約できる。 文章表現のポイントの読解ができ、課題点を見付けることができる。 pisa型学力の出題に課題解決の解答を作成できる。 敬語の種類・適切な使用ができる。
				②	✓		
				③	✓		
				④			
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓		授業での既習事項を小テスト範囲とする。予習・復習をして知識の定着を図る。 次の時間までに採点し、返却した時にフィードバックを行う。保育用語・文章表現・敬語・文法・漢字・語彙の小テストの得点を評価に加える。
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	10	①	✓		毎回の振り返りシートを蓄積し、自らの学修を調整できている。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①			内容が充実してまとまりがあり、声がよく届き、わかりやすい発表である。 他の学生の長所を箇条書きでまとめる。 グループワークにより、テーマについて話し合い、グループの意見をまとめることができる。グループワークで課題解決型（pisa型学力）の対応ができる。 誤字・脱字がなく、用語の使用が適切である。 要求字数の9割以上でまとめられている。 一文が簡潔でわかりやすい。 自らの独自の観点が示され、内容が優れている。
				②			
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		（主体性）小論文・スピーチ演習などに、積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 （課題発見力）文章・図表から課題を発見し、解決策を考察できる。 （創造力）文章・図表を踏まえて、独自の解決策を提案できる。 （発信力）聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 （傾聴力）他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Sは、小論文・議論・知識などの内容が高度である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字がなく、要求字数の9割以上で、要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容的確である。演習・グループワーク・スピーチとも積極的に、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。聞きやすく、説得力のある発表ができる。敬語の種類・語彙を十分マスターできている。試験・小テストの正解率が9割以上である。Aは、Sとほぼ同様であるが、試験・小テストの正解率が8割以上である。	Bは、学修態度がやや積極性に欠けるが、小論文・議論・知識などの内容はおおむねよい。具体的には、文章表現において、誤字・脱字が少なく、要求字数の8割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容の過ちはない。演習・グループワークに加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。聞きやすく、ほぼ内容が分かる発表ができる。敬語の種類・語彙を7割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が7割以上である。 Cは、学修態度が受動的であるものの、要求字数の6割以上で表現し、何とか誤解のないコミュニケーションができ、敬語・語彙・試験・小テストが6割以上である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 予習プリントに基づく 小テストの計画・方法 を確認する。 語彙力を身に付ける①	シラバスを参照し、授業方法 と小テスト、予習復習につ いて説明する。語彙を増やすた めの工夫について考え、演習 をする。 PCを用いて調べ学習をする。 保育用語を含め、調べた 語句は「オリジナル辞書」と してPCフォルダに蓄積して おく。(以下同じ)	語彙力を身に付ける工 夫を提案できる。 新聞を読めるレベルま で、自らを高めようと する意欲をもつことが できる。	(復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
2	語彙力を身に付ける② 新聞を読み、日常言語 と専門用語について理 解を深める。 ※保育用語の修得、差 別用語の理解(随時提 示) ※表現方法の習熟…主 述の呼応。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 語彙力を身に付ける工 夫について提案でき る。 200字の要約文を完成 することができる。	(予習) 小テスト対策 をしておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
3	現代に残る古語① 幼児に聞かせる童謡や ことわざにある古語を 発見し、理解を深め る。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…修 飾語、指示語。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 古語を通して日本の伝 統文化や感性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 小テスト対策 をしておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
4	現代に残る古語② 幼児に教えるかるたや百 人一種に使われている古 語について理解を深め る。 ※保育用語の修得、差 別用語の理解(随時提 示) ※表現方法の習熟…品詞 と活用。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 古語を通して日本の伝 統文化や感性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 小テスト対策 をしておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
5	現代に残る漢語① 幼児に教えるやことわざや 故事成語にある漢語を発見 し、理解を深める。 ※保育用語の修得、差 別用語への理解(随時提 示) ※表現方法の習熟…オノ マトペ、能動態と受動態。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 漢語を通して日本の伝 統文化や徳性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 小テスト対策 をしておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
6	現代に残る漢語② 幼児に伝えたい漢語を 発見し、理解を深め る。 ※保育用語の修得、差 別用語への理解(随時 提示) ※表現方法の習熟…修 飾語。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 漢語を通して日本の伝 統文化や徳性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 小テスト対策 をしておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
7	読み聞かせのスキル アップ	音声表現スキルのワー クショップを実施す る。	ペアワーク・グループ ワークで堂々と読み聞 かせができる。	(復習) さまざまなス キルを知識として覚 え、実践トレーニング を開始する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
8	日本語の変化① 若者言葉を通して日本 語の変化について理解 を深める。 ※保育用語の修得、差 別用語への理解(随時 提示) ※表現方法の習熟…ら 抜き言葉	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 保育士が使う言葉とし て、気を付けるべき点 を理解できる。	(予習) 小テスト対策 をしておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	日本語の変化② 歌謡曲を通して日本語 の変化について理解を 深める。 ※保育用語の修得、差 別用語への理解（随時 提示） ※表現方法の習熟…短 縮語、絵文字。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 保育士が使う言葉とし て、相手がどう受け止 めるかを想像できる。 言葉の変化に関する 800字の小論文を完成 することができる。	（予習）小テスト対策 をしておく。 （復習）振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 規律性
10	保育士の言葉遣い① 幼児に対して「見せる言 葉」と「語る言葉」の在 り方について理解する。 ※保育用語の修得、差別 用語への理解（随時提 示） ※表現方法の習熟…「お 手紙」、発音・発声。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 保育士が伝える言葉と して、用語の選択に加 え音声表現スキルにつ いて理解できる。	（予習）小テスト対策 をしておく。 （復習）振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 規律性
11	保育士の言葉遣い② 保護者に対して「見せる言 葉」と「語る言葉」の在 り方について理解する。 ※保育用語の修得、差別 用語への理解（随時提 示） ※表現方法の習熟…「お知 らせ」、敬語。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 保育士が伝える言葉と して、用語の選択に加 え音声表現スキルにつ いて実践できる。	（予習）小テスト対策 をしておく。 （復習）振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	敬語表現の実践① 志望理由書の作成 ※保育用語の修得、差 別用語への理解（随時 提示） ※表現方法の習熟…敬 語。	9月の保育実習を視野 に入れて、面接等を含 め、意欲を表現できる ようにする。800字の 志望理由書を作成す る。	相手に失礼なく、良識 ある言葉遣いで志望理 由書が書ける。	（予習）志望理由を簡 条書きにしておく。 （復習）振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	敬語表現の実践② 危機対応のロールプレ イニング ※保育用語の修得、差 別用語への理解（随時 提示） ※表現方法の習熟…挨拶、表情。	ロールプレイング ケーススタディを実践 する。場面設定にふさ わしい言葉遣いと振舞 いを体験する。	場面にふさわしい言 動、行動であったかを グループで検証し、実 践できる。	（予習）敬語の復習を しておく。 （復習）振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	オンデマンド 次回、3分スピーチの 原稿づくりとループ リック 保育を取り巻く諸課題 の整理	視聴とレポート提出 レポート内容は、期末 試験に直結する内容と する。	3分スピーチはshow& tellとする。聴衆に見 せるアイテムを用意で きる。	（復習）音声表現の成 果をあげるべく、ス ピーチの練習をする。	180	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 規律性
15	自己有用感の育成 3分スピーチ「保育士 としての私の強み」 これまで学んできた敬 語表現・文章表現スキ ルを駆使し、意気込み を堂々と表現する。	1人ずつ全体に向けて スピーチをする。 聴く側は、長所を評価 して記述する。	ループリックに照ら し、自己評価及び相互 評価が「おおむね満 足」となる。 相手の「いいところ探 し」をする姿勢の大切 さを実感できる。	（予習）スピーチの予 行練習をしておく。 （復習）振り返りシー トをで自己評価をす る。また、他のスピー チを聴き、今後の参考 にしたい点をまとめ る。	180	主体性 働きかけ力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力